



# 青少年奉仕委員会だより

2018年11月1日号

編集者 稲本修一

## 世界インターアクト週間

11月5日を含む1週間は「世界インターアクト週間」です。

インターアクトは、1962年6月にRI理事会で採択された国際ロータリーの常設プログラムです。インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年により構成され、社会奉仕や国際理解を中心に活動します。

## 第39回ライラセミナー開催さる



第39回ライラセミナー（RYLA ;Rotary Youth Leadership Awards ロータリー青少年指導者養成プログラム）が10月7日・8日の両日、大洗こどもの城で行われました。

ライラとは、地域社会に貢献する次世代のリーダーを育成するプログラムで約80名の青少年が参加しました。

今年のライラは、社会人の積極的参加を促すために1泊2泊とし、短期間の中でも濃縮されたリーダーシップ研修が出来るよう工夫をしました。

また、今年のテーマは吉野源三郎氏の『君たちはどう生きるか』を取り上げ、サブタイトルを「ロータリーファミリーとしての生き方を問う」とし、ライラセミナー参加の若者にふさわしい生き方を問う問題提起と致しました。

積極的な表現力を短時間で習得するための演劇ワークショップを導入し、講師を招いての講演会を取りやめたことも新しい試みでした。

## NHK テレビで留学生募集の呼びかけ



ローテックス（青少年交換学友）と来日留学生のピエール君（フランス）とプーンさん（タイ）がNHKテレビの「いばっちゃんお」に出演、長期交換留学生募集の呼びかけを行いました。

## 来日留学生オリエンテーション



学園生活や社会生活、ホストファミリーと快適・安全に暮らせるため

のオリエンテーションがフランス、タイ、アメリカの長期交換留学生を対象に行われました。

ローテックス（青少年交換学友）が中心となり、ルールや危機管理についての説明を行いました。

## 長・短期交換留学生の選考試験

地区青少年交換委員会は、長短期交換留学の選考試験と面接を行いました。

当日は、明確な志望理由や将来の夢を持つ若者たちの豊かな個性で溢れました。

今年の短期応募者の中には、英語レベルの高い学生も多く、派遣が楽しみです。

